

4 行財政運営

めざすまちの姿

人口減少、少子高齢化など社会構造が変化する中でも、将来を見据えた持続可能な行財政運営により、効率的・効果的な行政サービスが提供されている。

現状と課題

(1) 行政経営資源が限られていく一方で、市民ニーズは多様化し、事業や業務は増え、さらに複雑化しています。持続的に行政サービスを提供していくには、将来を見据えた行財政運営を行い、行政経営資源を最も効率的・効果的に配分する必要があります。また、老朽化が進む公共施設の維持・更新費等が増加する中、これまでの水準でこれら整備に投資していくことは困難な状況にあります。

グラフ or 写真

(2) 少子化に伴う労働力の深刻な供給不足が懸念される中、住民サービスを持続的、かつ、安定的に提供していくために、時代の変化に対応できる職員の育成と、組織体制の整備に取り組む必要があります。

グラフ or 写真

(3) 税収などによる歳入の大幅な伸びは見込めず、社会保障関連経費が増加するなど、今後も厳しい財政状況を見込んでおり、これまで以上に、財政の健全化や施策の効率的・効果的な実施を図り、将来にわたる持続可能な行財政運営を推進することが極めて重要です。

関連する主な分野別計画

宝塚市行財政運営に関する指針

| 施策 | 成果指標 | |
|---|--|-------------|
| | 指標名 | 方向性 |
| (1) 時代にふさわしい公共サービスの追求 ○時代にふさわしい公共サービスを提供します ○業務シフトによる市民サービスの向上を図ります ○公共施設マネジメントを推進します | ◆「時代にふさわしい公共サービスが提供されていると思う」と回答した市民の割合 | ↗ |
| (2) 時代の変化に対応できる職員の育成と、組織体制の整備 ○協働の視点で問題解決を図る職員を育成します ○スマート自治体への転換に向けた取組を進めます ○機能的で連携の取れた組織体制を整備します ○職員のワーク・ライフ・バランス、働き方改革を推進します ○未来を切り拓くための風土づくりに取り組みます | ◆職員研修延べ受講人数 ◆年次休暇取得率 ◆育児休業取得率 | ↗ ↗ ↗ |
| (3) 将来の見える行財政運営の推進 ○将来にわたる責任ある財政運営を推進します ○効率的・効果的な施策の実施に取り組みます ○地方公営企業・外郭団体等の経営健全化を図ります | ◆実質単年度収支プラスの確保 | → |